

田迎の史跡めぐり

シリーズ⑫

稲葉の南、通称「出屋敷」の防火水槽の横にある観音堂で、厨子内に聖観音立像がある。

これは、天明年間（三百年前）田迎手永惣庄屋芥川

祈願石が掘出された。

昭和十一年春観音堂が改築された際、「一字一石」の

内に聖観音立像がある。

これは、天明年間（三百

年前）田迎手永惣庄屋芥川

祈願石が掘出された。

時代に判明したことは、この堂が明



稲葉觀音・稲葉地蔵尊

治三年及びその百年前にも改築されており、明治三年（一八七〇）の百年前は、明和七年（一七七〇）に当る。

明和四年（一七六七）から安永、天明にかけての田

門（芥川守正の別名）で

ある。

「一字一石」の埋没時

期は、天明元年（一七八

一）と思われる。

国郡一統志（一六六九

出版）には出仲間に観音

があるとしているので、三

百三十年以前に観音は存在

したことになる。

（たむかえ散歩より）

社会福祉協議会

年間の事業計画として、

新役員は次の通りである。

（会長） 東田 勝明氏

（副会長）

（会計）

（監事）

（会計）